

令和 6 年度（2024 年度）皇學館高校の教育目標

＜建学の精神＞ 建学の精神：神宮祭主 賀陽宮邦憲王殿下令旨（明治 33 年 2 月 18 日） 学校目標：清明正直「清らかで明るく正しく直き心」 清明正直な人格と豊かで高潔な日本人の精神を備えた国際人の育成
＜目指す学校像＞ 日本人として正しい学問に親しみ、高い教養を培うとともに、豊かな感性と品格を備え、グローバルな視野をもって、我が国及び国際社会の発展に貢献する人を育てる。
＜重点目標＞ 本校の生徒は ○ 清明正直で、互いに尊重する心と豊かな人間性、道徳性を備えている ○ 自己の実現を図るため、自ら考え、行動している ○ 確かな知識・技能を習得し、それを活用する力と主体的に学ぶ力を養っている ○ 安全安心な気持ちのよい学校生活を享受している
＜重点目標推進に係る基本的な考え方と行動計画(中長期的な計画・取組も含む)＞ ○ 急激に進展する少子化への対応を図る観点から、現在取り組んでいるさまざまな教育活動の質的な向上を継続して図り、生徒の学校満足度及び保護者の信頼度の向上につなげる。 [経営視点の共有・凡事徹底・質的向上] ○ 高等学校においては、高等学校学習指導要領の完全実施が 2 年目を迎えた。中学校では完全実施となり、より質的向上が望まれる。このことから、学習指導要領の適切な運用を図る。 [検証と改善] ○ 教育を取り巻く現状を踏まえ、指導の在り方の再考、チーム体制の一層の構築、弾力的な対応の必要性など、校務運営の円滑な推進に資する取組を図る。 [不易流行]

＜評価基準＞

A：達成 B：おおむね達成 C：やや不十分 D：不十分

各部・各学年・教科	目標	評価
総務部	① 学校運営を効率的・組織的に進めるための情報共有を行う ② 校内研修等を通じ危機管理意識や判断の向上を図る。また、避難訓練・防災訓練（地震及び火災）を実施し、災害から自らの生命を守るため主体的に行動する力を育成する。 ③ 保護者会役員会や保護者総会及び保護者懇談会を実施し、保護者との連携を深める。 ④ 姉妹校との国際事業を通して、グローバルな視点から生徒の道徳心・社会性を育てる。 ⑤ 小学生対象のスピーチコンテストを開催し、内容を精査し参加者の増加を図る。	B

教務部	① 新学習指導要領の方針に沿った教育課程の改編と授業内容や指導方法についての研究を進め、授業力の向上に努める。 ② キャリアプログラムの充実を通して生徒が自らの在り方・生き方を考え、自己実現を図ることのできる教育課程を編成する。 ③ ICT 機器を学習指導やコミュニケーションの手段として効果的に活用し、学習成果の向上を図る。 ④ 各種研修等を通して教員間の教育目標を共有し、学びの環境を充実させて中高一貫校としての総合的な教育力を高める。	B
教務部 (情報・視聴覚)	① 保有する情報を適切に管理する。 ② 情報の共有化を進め、利便性を高める。 ③ 教育内容の充実に適した環境整備を行う。 ④ 教育効果を高めるため、さらなる業務改善を進める。	B
教務部 (図書係)	① 図書館利用を通じて、読書に親しみ豊かな心と感性を養うとともに、学校図書館の正しい利用方法や館内でのマナーを知り道徳性を養う。 ② 読書活動から学びの視野を広げ、学校図書館の情報を活用して課題を発見し、それを解決しようとする態度を育てる。 ③ 生徒が確かな知識・技能を修得し、それを活用する力と主体的に学ぶ力を養うため、教科との連携を深め、教科の参考となるような図書の購入を図るとともに、授業で利用できる体制を整える。	B
訓育部	① 礼節を重んじ、基本的な生活習慣を確立するとともに、社会性を養う。 ② ルールの遵守、マナーの向上を目指し、望ましい社会的態度を養う。 ③ 全ての生徒にとって安全・安心で快適な学校であるように、教育環境を整える。 ④ 特別活動、部活動を通して生徒の自主的な活動を促進し、豊かな人間性を養う。	B
進路指導部	① 進路ガイダンス、進路講話、就職・公務員ガイダンス等を実施し、生徒自らが主体的に進路を考える機会を提供する。 ② 入試制度に関する情報を進路通信や進路説明会を通して生徒、保護者へ迅速かつ的確に伝え、進路実現にむけて積極的に関わる。 ③ 皇學館大学ガイダンスを実施し、魅力の発信に努める。 ④ 情報誌や情報検索端末を配し、生徒が進路情報を収集しやすい進路資料室の運営に努める。	B
保健部	① 生徒の心身健康維持と増進を図り、定期検診などを通じて、生徒の健康状態を把握し、適切な健康指導にあたる。 ② 危機管理体制を徹底して、本校が保有するリスクの軽減に取り組む。 ③ 全ての生徒に安全・安心な学校生活が送れるように、教育環境を整える。 ④ 校内の美化を推進し衛生面での向上を図り、快適な学校生活が送れるように取り組む。	B

入試 広報部	① 本校の掲げる教育理念を広く紹介し、周辺地域より信頼される学校づくりをめざし、その推進に努める。 ② 学校生活やクラブ活動の様子などをあらゆるシーンにおいて広報し、入学生の安定的確保に努める。 ③ 本校の進学実績およびクラブ活動実績の向上に寄与しうる能力を備えた生徒の入学に尽力する。 ④ 皇學館中学・大学との連携を強化し、法人全体として入学生の確保に取り組む。	A
教育相談・人 権教育部 (教育相談)	① 全ての生徒にとって安心・安全で快適な学校であるように、教育環境を整える。 ② 「いじめに関する調査」(チェックシート)を毎学期実施し、生徒の学校生活の現状把握に努め、学年と共に適切な指導対応をする。 ③ 保護者への相談窓口として、メールアドレスを公開し、保護者や地域との相互理解を深める。 ④ 各校舎毎に教育相談箱を設置し、生徒の悩みや現状を迅速に把握する。	B
教育相談・人 権教育部 (人権教育)	① 人権学習等の活動を通して、生徒の人権意識を高め、清明正直で、互いを尊重する心と豊かな人間性・道徳性を育てる。 ② 研修等を活用し、教員の人権に関する認識を深める。また、生徒の人権意識を高める取組を推進する。 ③ さまざまな行事等で、保護者や地域との対話を通して相互理解を深め、連携を強化し、保護者の人権に関する認識が深まるように働きかける。	B
第1学年	① 入学学年である点を十分に顧慮し、生徒各人に寄り添いながら、保護者、地域各部門との連携を綿密に図り、魅力的で、気持ちよく学べる安全、安心な教育環境を創出する。 ② 建学の精神に則り、清明正直な人物の育成を実践することで、早期に本校生としての自覚が芽生え、充実した高校生活が送れるよう指導する。 ③ 未来をデザインする力を身に付けるため、恒常的に社会とつながる視点を持ち続け、主体的・対話的で深い学びを実現する。 ④ 系統別キャリアプログラムを視座し、探究活動を軸に据えた「職業別ガイダンス」「文理選択ガイダンス」に取り組むことで、幅広い進路選択に対応可能な力を育成する。 ⑤ 平素の授業に加え、学校内外の特別活動を通して、志を基盤とした日本人の精神を備えた国際人の育成をし、グローバル社会を伸びやかに生きていく資質・能力を涵養する。	B

第2学年	① 礼節を重んじ、基本的な生活習慣を確立するとともに、社会性を養う。 ② 授業内容や指導方法について実践研究を進めるとともに、これまで蓄積した教材や手法を活用し授業力を向上する。 ③ 自らの在り方・生き方を考え、社会的・職業的自立に向けた能力・態度を育成する。 ④ 全ての生徒にとって安全・安心で快適な学校であるように、教育環境を整える。 ⑤ 職員間で教育情報の共有化を進めるとともに、互いに学びあう環境を充実し、学校の総合的な教育を高める。 ⑥ 学校情報を積極的に発信するとともに、保護者、地域との対話を通して相互理解を深め、連携を強化する。	B
第3学年	① 礼節を重んじ、基本的な生活習慣を確立するとともに、社会性を養う。 ② 授業内容や指導方法について実践研究を進めるとともに、これまで蓄積した教材や手法を活用し授業力を向上する。 ③ 的確な情報と学習機会を提供して主体的な進路選択を促し、進路希望を実現する。 ④ 全ての生徒にとって安全・安心で快適な学校であるように、教育環境を整える。 ⑤ 職員間で教育情報の共有化を進めるとともに、互いに学びあう環境を充実し、学校の総合的な教育力を高める。 ⑥ 学校情報を積極的に発信するとともに、保護者、地域との対話を通して相互理解を深め、連携を強化する。	B
国語科	① 古典や近代以降の様々な文章を通して、国語を適切に理解し、思考・表現する確かな知識を習得し、それを活用する力を育成する。 ② 古人から現代の人々の様々な生き方や価値観に触れ、自らの生き方を見つめ、互いを尊重する心と豊かな人間性を育成する。 ③ 教員間で授業内容や指導方法、共通テスト対策についての情報の共有化をすすめ、授業力向上に努める。	B
地理歴史・公民科	① ICT等を活用しながら、新たな授業内容や指導方法について研究を進め、授業力を向上する。 ② 時代の変化を的確に捉え、生徒が社会の形成者として、課題を主体的にとらえ解決しようとする態度を養う。 ③ 科目間での教育情報の共有化を進め、学校の総合的な教育力の向上に寄与する。	B
数学科	① 能動的な学習を促す指導方法について実践研究を進める。指導内容を厳選し、生徒の適性に応じた弾力的な指導を行う。更に、生徒の興味・関心を引き出す授業を展開する。 ② 大学入学共通テストや多様化する大学入試に対する指導法をもとに、各学年・分掌での役割を通し、生徒の進路希望を実現するための指導力を向上させる。	B

理科	① 自然の事物・現象についての実感を伴った理解を図り、科学的な見方や考え方を養う。 ② 授業内容や指導方法について実践研究を進めるとともに大学入試共通テストに関する情報を共有しながら対策をすすめ、蓄積した教材や手法を活用し授業力を向上する。 ③ 探究活動を通して、社会的・職業的自立に向けた能力・態度を育成する。 ④ 実験施設・設備の点検・整備・拡充を行い、効果的な実験・実習を行う。	B
保健体育科	① 体育では、体力の向上と基礎的な技能を習得させ、主体的に運動に取り組む姿勢を身に付けさせ、生涯を通じてスポーツに親しむ態度を育成する。 ② 保健では、生涯を通じて自らの健康を管理する力を習得させ、社会や環境との関りを理解し、習得した知識を積極的に活用する力を育成する。 ③ 安全管理を徹底し、授業方法の改善や ICT の活用を進め、授業力の向上に努める。	B
芸術科	① 芸術を通し確かな知識・技能を修得し、それを活用する力と主体的に学ぶ力を養う。 ② 芸術を通し自らの在り方を考え、互いに尊重する心と豊かな人間性を育みそれぞれの自立に寄与する。 ③ 教員が芸術の三分野（音・美・書）を理解し、それぞれの活動を展開する。	B
英語科	① 英語における基本的な知識を修得し、4 技能の育成を通して主体的に英語学習に取り組む態度を養う。 ② 英語への関心や理解、異文化について理解を深めることにより、グローバルな視野を持って主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を育む。 ③ 授業内容や ICT を利用した指導方法についての情報共有を促進し、授業力の向上を目指す。	B
神道科	① 日本の文化や神話などを通して、神道の基本的な知識を養う。 ② 『古事記』を中心とした日本神話から神道の精神を学び、清明正直な人格と、日本人の精神を備えた国際人を育成する。 ③ 生徒間で意見を交換・共有し、日本文化についての自身の意見や発信する力を育成する。	B
教科情報	① 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人とのかかわりについて理解を深める。 ② 様々な事象を情報とその結びつきとしてとらえ、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 ③ 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画する態度を養う。 ④ 教員間で授業内容や指導方法についての情報共有を密にするとともに、実践研究を進め、授業力の向上に努める。	B